



# 優秀賞 (総合部門)

タイトル

篠町の民家再生

タイプ

持家一戸建

講評

上位賞検討作品。中央の居間は閉鎖的に見えるが、大柄な建具や天井板の効果などで、縦横方向とも圧倒的な開放感がある。地域特有の美しい屋根の外に、野太い空間が溢れている。これぞ「日本の家」。

リフォーム前後の写真



01



04



02



03



05



08



06



07



09



10

### リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

既存民家はこれまでに何回もの改築改修がなされ建築当初の力強い梁組みも天井に覆い隠されていた。今回の改修は息子夫婦がこの実家に住むことになったのを機会に間取りなどで生じる住みにくさを解消するために行った。

民家本来の魅力を取り戻し、その上で現在のライフスタイルに適した住まいに再生させたいと考えた。

### 《設計の工夫点》

・屋根葺き材料の茅などが保存され使われていなかった屋根裏は新しく屋根裏部屋として改修した。

- ・ご両親が同居する東側建物からは居間を通らずに廊下から玄関・座敷まで通り抜けができる動線としています。
- ・子供室の開口部は玄関アプローチからの視線を避けるため、板張りの腰壁を建て、プライバシーを保っています。
- ・玄関は奥さんのパッチワーク教室の作品展示にも利用されるので、子供室の天井部分をロフトにし、階段から上って行き、キルトなどの作品を吊るせる工夫をしています。
- ・屋根裏に敷かれていた煤竹は玄関や廊下の天井に、解体中にでてきた延べ石は玄関の踏石に再利用した。

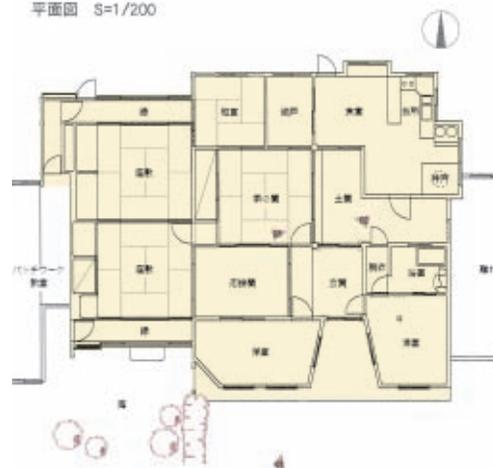
特に配慮した住宅性能：耐震補強 バリアフリー 住む人の健康 オール電化

### データ

所在地	京都府亀岡市	構造/築後年数	在来木造	150年
該当工事面積	188.71 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	2,800万円	
居住者構成	4人 (大人<15歳以上)	3人 子供	1人 ペット	
設計者	小森博之建築設計事務所	担当者	小森 博之	
施工者	沼田工務店	担当者	沼田 昌年	

### リフォーム前

平面図 S=1/200



### リフォーム後

平面図 S=1/200

